

09.09.21 (月)

「五泉市 大谷山」

(1334) T/H

コースタイム

JR馬下駅(9:00~9:10)ー小山田ヒガンザクラ樹林登山口(9:55~10:05)・・・
・鉄塔(10:50~11:00)・・・祠(11:05)・・・山頂(11:50~12:30)・・・
・鹿返ノ峰(12:43)・・・鹿返道(12:50~13:00)・・・馬下保養センター前
(14:45) 新潟交通バス;馬下保養センター前(16:20)ー JR馬下駅(16:25)

シルバーウィークを利用して、五泉市の“地図に載っていない△649.1の山”の山名を確かめたいと思っていたので出掛けることにした。

JR馬下駅から徒歩で“国指定天然記念物 小山田ヒガンザクラ樹林”登山口から登り、“馬下保養センター前”へ下山することにした。

JR馬下駅から歩いて暫くすると大谷部落があり、“林道大谷線起点”の標識と「この先ゲート有り 関係者以外の者 入山禁止!! 大谷山三ヶ部落山組」の看板がある。(添付画像①)



添付画像①; 大谷部落の標識



添付画像②; 小山田彼岸桜登山口の標識

更に数十分で小山田彼岸桜樹林登山口に到着。駐車場の脇には「小山田彼岸桜樹林(花見山)←・→菅名岳」の標識がある。(添付画像②) 小山田彼岸桜樹林を登り終え、下草が払われ手入れされた登山道のをぼり鉄塔に到着。振り返ると目の前に大河 阿賀野川と刈入れが始まった黄金色の穀倉地帯が望める。(添付画像③) 鉄塔から少し登ると岩陰にひっそりと小さな祠があり(添付画像④)、その先からのブナ林の急登を登り切ると山頂である。



添付画像③; 鉄塔付近からの眺望

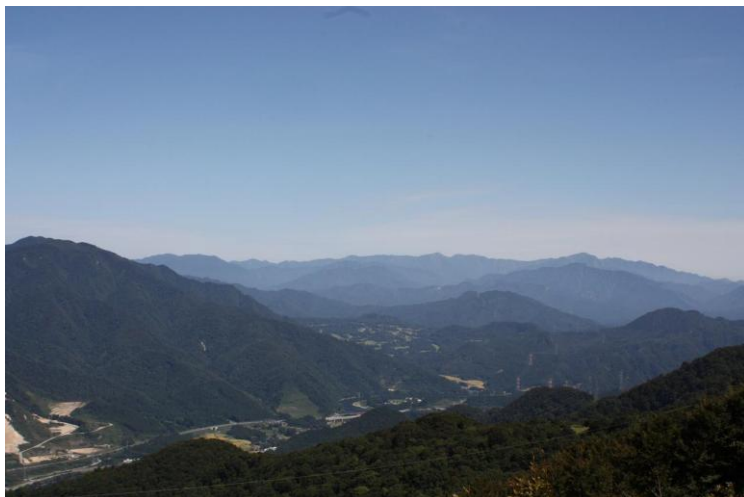


添付画像④; 岩陰の祠(右下)

真正面に鳴沢峰の山容が現れ、鉄柱には吊り鐘と「大谷山」の標識が付いている。(添付画像⑤)
東に目をやると、やや霞んだ飯豊連峰の山容が望める。(添付画像⑥) 山頂は狭いが360度の眺望が可能であり、西は菅名山系が望める。誰もいない山頂を独り占めの中、昼食をしながら頂上からの眺望を充分堪能した後、馬下保養センター前を目指す。



添付画像⑤；山頂の吊鐘と標識



添付画像⑥；山頂から望む飯豊連峰



山頂の三角点



添付画像⑦；鹿返ノ峰



添付画像⑧；鹿返道

暫く下ってから登った所に“鹿返ノ峰”の標識が有り(添付画像⑦)、数分後には鳴沢峰と馬下保養センターを結ぶ“鹿返道”に出る。(添付画像⑧) 鹿が返って行く程、急登の道の意味か。(因みに、今年の4月初旬、五葉コースから鳴沢峰の登山中、鉄梯子の先で岩石が崩れ落ちる様な音に驚かされ、後ろの同行者が「鹿だ！」と叫んでおりこの山系に鹿が生息しているのは間違いなさそう。)

登山道の途中、いくつかある鉄塔付近の樹林間から飯豊連峰の眺望が少しずつ見えなくなる頃には、馬下保養センター前に到着する。

“地図に載っていない△649. 1の山”は「大谷山」だった。

以上